

記者発表要旨

## 小ロット連続印刷の生産効率を高める 自動運転機能“スマートアシストプリンティング”を開発

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社(代表取締役社長 広川 勝士)(以下 RMGT)は、省力化、スキルレス化と、小ロット印刷を中心とした生産性向上という市場の要望にお応えするため、画面のワンタッチ操作で複数ジョブを自動で連続印刷が行える自動運転機能「スマートアシストプリンティング」を新開発しました。

新開発の「スマートアシストプリンティング」は、画面のワンタッチ操作でインキプリセットからブランケット洗浄、版交換、テスト刷り、見当合わせ、濃度調整、本刷りまで、複数ジョブの連続印刷を自動で行える機能です。インキプリセット、ブランケット洗浄、刷版交換の工程が終了すると自動で給紙が始まり、テスト刷りへと移行します。テスト刷りでは、印刷機上の CCD カメラで印刷中の用紙を撮像し、インラインで印刷物の品質管理が行える印刷品質管理システム PQS-D と連動。用紙を抜き取らずに見当と濃度を合わせ、見当と濃度が本刷りの基準値に入れば本刷り印刷が始まります。本刷り印刷中も、PQS-D により印刷中の品質検査を行うとともに、濃度の自動調整と見当状態の監視をします。最初のジョブの本刷りが終了すると次のジョブに移る連続印刷サイクルを繰り返します。用紙の抜き取りによるメクレディの作業を印刷機に任せることで、1ジョブあたり約4分<sup>\*1</sup>の時間短縮が行え、小ロット連続印刷の生産性向上とオペレーターのスキルレス化を実現しました。(お客様による品質確認を重視する仕事では、本刷り移行の判断をオペレーターが行うセミアシストモードも備えています。)

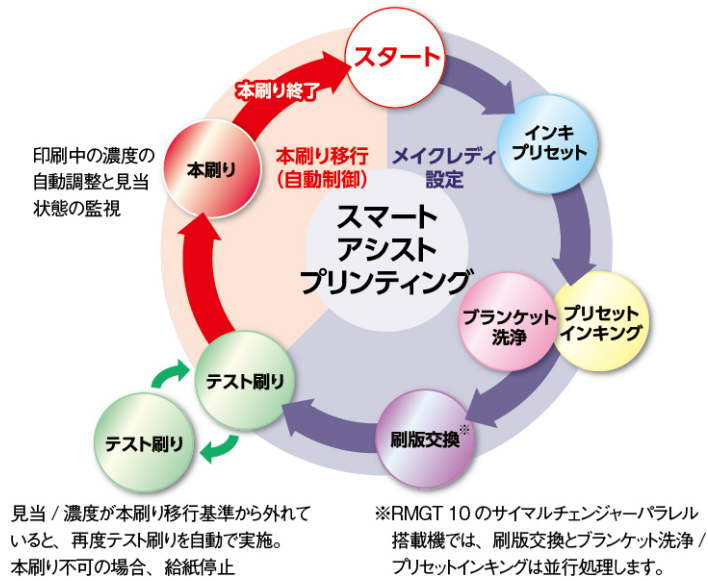
RMGT ではスマートアシストプリンティングの開発に合わせて、自動運転を効率的に稼働させるために、お客様の基幹システムから出力したジョブデータを基に、用紙やインキ、納期など印刷条件に合わせた最適な順序でジョブを自動で並び替える機能を印刷管理システムのプレスインフォメーションエンジンに内蔵しました。また、RMGT 10シリーズで培った濃度制御を RMGT 9/7/6シリーズにも展開し、より少ない損紙で短時間に印刷濃度を安定させることができるよう濃度合わせ制御の改良を行いました。これにより目標濃度への到達と、その後の濃度安定までの損紙枚数を RMGT 9/7/6シリーズの従来機より最大約40%<sup>\*1</sup>削減させました。

RMGT ではスマートアシストプリンティング機能を B1判サイズ/菊全判ワイドサイズ印刷機 RMGT 10シリーズ、菊全判サイズ/A全判サイズ印刷機 RMGT 9シリーズ、B2判サイズ印刷機 RMGT 7シリーズ<sup>\*2</sup>/菊半截寸延びサイズ印刷機 RMGT 6シリーズにオプションで搭載できるようにし、印刷機の自動運転化によりオペレーター支援を強化するとともに、多品種・小ロット印刷での生産効率アップを求める市場のニーズにお応えしていきます。

※1 社内スタッフにより効果測定した数値です。オペレーターの熟練度や印刷条件によって数値は異なります。

※2 RMGT 760 モデルは除く。

■スマートアシストプリンティングサイクル図



以上

お問い合わせ先  
 リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社 営業統括部 担当:足立  
 〒114-0003 東京都北区豊島 5-2-8 Tel.03-3927-3300 Fax.03-3927-5716